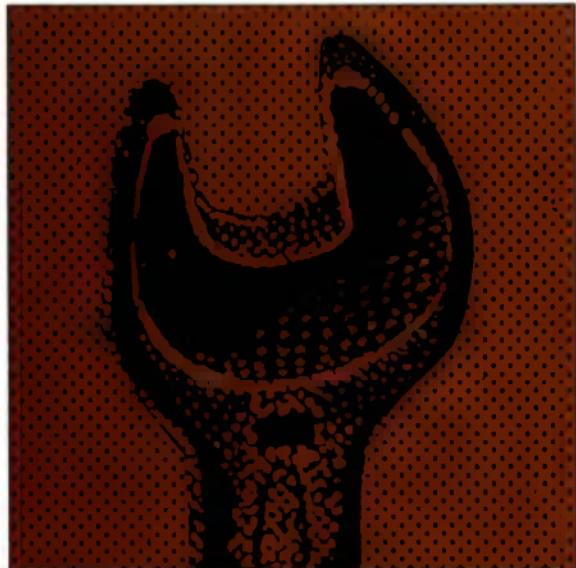


三菱ふそう

ザ・グレート

FP.FT.FU.FV
FN.FS '91モデル

シャシ 整備解説書



トヨタセ 商品総括部

サービス資料グループ

持出厳禁

1991.10.10 (H)

MMC 三菱自動車

三菱ふそう

ザ・グレート シャシ 整備解説書

まえがき

この整備解説書は、ザ・グレートシャシの整備にあたられる皆さまのために、調整要領及び整備作業要領を記載してあります。

正しい整備、無駄のない迅速な整備を行うため、本書を十分活用されますようお願いいたします。

本書の他に次の関連整備解説書がありますので併せて活用ください。

- ・ 6D2, 6D4, DC型エンジン整備解説書
(コードNo.2038904E)
- ・ ザ・グレート エレクトリカルシステム整備解説書 (コードNo.2032255C)
- ・ ザ・グレート 電子ガバナ・電子タイマシステム整備解説書 (コードNo.2038905E)
- ・ ザ・グレート アンチロックブレーキシステム整備解説書 (コードNo.2032251C)
- ・ ザ・グレート アンチロックブレーキシステム/アンチスキッドレギュレータ整備解説書 (コードNo.2032256C)
- ・ ザ・グレート フィンガコントロールトランスマッシュンシステム整備解説書 (コードNo.2032252C)
- ・ ザ・グレート 機械式オートマチックトランスマッシュン整備解説書 (コードNo.2032253C)

ご不明な点につきましては、最寄りの三菱ふそう販売会社にお問い合わせください。
本書に記載しております諸元及び整備数値等は、その後の改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

1990年8月

本書の編集

ゼネラル	00
エンジンの脱着	10
クラッチ	21
トランスミッション <M8, M10, M12>	22A
トランスミッション <M130>	22B
プロペラシャフト	25
フロントアクスル	26
リヤアクスル	27
ホイール・アンド・タイヤ	31
フロントサスペンション	33
リヤサスペンション (リーフ)	34A
ブレーキ (エア)	34B
ブレーキ (エアオーバ)	35A
ブレーキ (エア)	35B
パーキングブレーキ	36
ステアリング	37
フレーム	41
キャブ	42
ヒータ、エアコン・アンド・ベンチレーション	55
スペシャルライクイメント(オートグリスタ)	61
ツール	91

適用車種

U-FP系, U-FN系, U-FS系, U-FT系,
U-FU系, U-FV系, W-FP系, W-FT系,
W-FV系

MMC三菱自動車

本 書 の 編 集

1. 型式記号表示要領	2
2. グループ分類	5
3. 用語, 単位	7
4. 記載内容の説明	7

1. 型式記号表示要領

(1) 車両型式



(2) 装置型式表示要領

・型式表示のうち、□枠内数字または記号が換わる。

装置名	型式表示	記号説明
エンジン	6 D [2] [2] [2] A [T2]	過給機区分 (T□ : ターボチャージャ付) 自動車用 (A : Automobile) 改造順 シリーズ内開発順序 シリーズ別開発順 ディーゼルエンジン (D : Diesel) シリング数
	8 D C [9] [1] A [T2]	過給機区分 (T□ : ターボチャージャ付) 自動車用 (A : Automobile) 改造順 シリーズ内開発順序 シリーズ別開発順 ディーゼルエンジン (D : Diesel) シリング数
クラッチ	C [8] W [40]	ディスク外径 フェーシング材質 (W : ウーブン, M : セラメタ) 主として使用される機種の積載量 (トン数) クラッチのイニシャル
	M [8] S [6]	前進変速段数 かみ合い方式 (S : シンクロメッシュ) 主として使用される機種の積載量 (トン数) トランスマッisionのイニシャル
プロペラシャフト	P [8]	主として使用される機種の積載量 (トン数) プロペラシャフトのイニシャル
フロントアクスル	F [8] T	機種の区分 (T : トラック) 主として使用される機種の積載量 (トン数) フロントアクスルのイニシャル

本書の編集 一 型式記号表示要領

装 置 名	形 式 表 示	記 号 説 明
リヤアクスル	R 10 T T	<p>タンデム軸 機種の区分 (T : トラック) 主として使用される機種の積載量 (トン数) リヤアクスルのイニシャル</p>
リダクション・アンド・ デファレンシャル	D 10 H T	<p>機種の区分 (T : タンデム軸) 齒形 (H : ハイポイドギヤ) 主として使用される機種の積載量 (トン数) リダクション・アンド・デファレンシャルのイニシャル</p>

2. グループ分類

本書は、系統別にグループ分類し編集しております。

グループNo.	グループ名称	内 容
00	ゼネラル	外観図、主要諸元、パワーライン一覧表、走行性能曲線図、シャシ番号、エンジン番号、整備基準表、締付けトルク表、シール剤・油脂類一覧表、定期交換部品一覧表
10	エンジンの脱着	エンジンの車両からの取外し、取付け、
21	クラッチ	クラッチ本体、クラッチペダル、クラッチマスタシリング、クラッチブースタ、クラッチハウジング、クラッチ系統のブレーキ液交換・エア抜き、クラッチペダルの調整、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング、
22A	マニュアルトランスミッション <M8, M10, M12>	トランスミッションの脱着、トランスミッション本体(メインシャフト、カウンターシャフト、ギヤシフタ、パワーシフト)、トランスミッションPTO、イナーシャブレーキPTO、トランスミッションオイルクーラ、トランスミッションコントロール、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング
22B	マニュアルトランスミッション <M130>	トランスミッションの脱着、トランスミッション本体(メインシャフト、カウンターシャフト、ギヤシフタ、パワーシフト)、トランスミッションPTO、トランスミッションオイルクーラ、トランスミッションコントロール、スプリッタコントロール、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング
25	プロペラシャフト	プロペラシャフト、センタベアリング、ユニバーサルジョイント、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング
26	フロントアクスル	ホイールハブ、ブレーキドラム、フロントアクスル、ナックル、キングピン、諸元、整備基準、特殊工具
27	リヤアクスル	ホイールハブ、ブレーキドラム、リヤアクスル、ナックル、キングピン、諸元、整備基準、特殊工具
31	ホイール・アンド・タイヤ	タイヤ、ディスクホイール、諸元、整備基準、トラブルシューティング
33	フロントサスペンション	リーフスプリング、ショックアブソーバ、スタビライザ、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング
34A	リヤサスペンション(リーフ)	リーフスプリング、スタビライザ、諸元、整備基準、特殊工具
34B	リヤサスペンション(エア)	リーフスプリング、エアスプリング、ショックアブソーバ、レベリングバルブ、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング
35A	ブレーキ(エアオーバ)	ブレーキ系統(エアコンプレッサ、エアドライヤ、デュアルブレーキバルブ、エアマスター等)、トレーラブレーキ用機器、作業用補助制動装置、ホイールブレーキ、エキゾーストブレーキシステム、ブレーキ液のエア抜き・交換、諸元、整備基準、特殊工具、トラブルシューティング

本書の編集 一 グループ分類

グループNo.	グループ名称	内 容
35B	ブレーキ (エア)	ブレーキ系統 (エアコンプレッサ, エアドライヤ, デュアルブレーキバルブ, リレーバルブ等) トレーラブレーキ用機器, ホイールブレーキ, エキゾーストブレーキシステム, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
36	パーキングブレーキ	パーキングブレーキレバー, ストロークスイッチ, ブレーキドラム, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
37	ステアリング	ステアリング系統 (ステアリングホイール, ステアリングシャフト, ステアリングリンクージ, ステアリングギヤ, パワーステアリングブースタ, パワーシリンダ, オイルポンプ, オイルタンク等) 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
41	フレーム	フレーム, 諸元
42	キャブ	キャブの脱着, キャブマウンティング, キャブチルトシステム, ドア, キャブ外装品, キャブ内装品, ウィンドガラス, 自動ステップ, 諸元, 整備基準, トラブルシューティング
55	ヒータ・エアコン・アンド・ベンチレーション	ヒータ, エアコンディショナ, 諸元, トラブルシューティング
61	スペシャルイクイipment (オートグリスタ)	オートグリスタ給脂系統, オートグリスタのエア抜き, 諸元, トラブルシューティング
91	ツール	特殊工具一覧表

注意!

ページ番号は各グループ毎に「1」からはじまります。

3. 用語、単位

本書の用語、単位は次のように定めている。

(1) 前 後

車両の進行方向側を前、進行方向と反対側を後とする。

(2) 左 右

車両の進行方向に向かい、それぞれ左及び右とする。

(3) 整備基準用語

・基準値

設計上の呼び寸法、部品单一の設計上の寸法または部品を組立てたときの部品相互の標準すきま、あるいはアセンブリの標準性能を示す。

[] 内は基本径を示す。

・限 度

性能上、強度上からこれ以上使用できず、部品交換または修理を必要とする数値である。

(4) 締付けトルク

ボルト、ナット等の締付け過不足は性能上とくに重要である。したがって、締付け部位によっては締付けトルクを規定している。

ウェットの状態で締付けなくてはならない個所には、ウェットと指示している。指示がない個所はドライ状態と判断し規定の締付けトルクで締付けること。

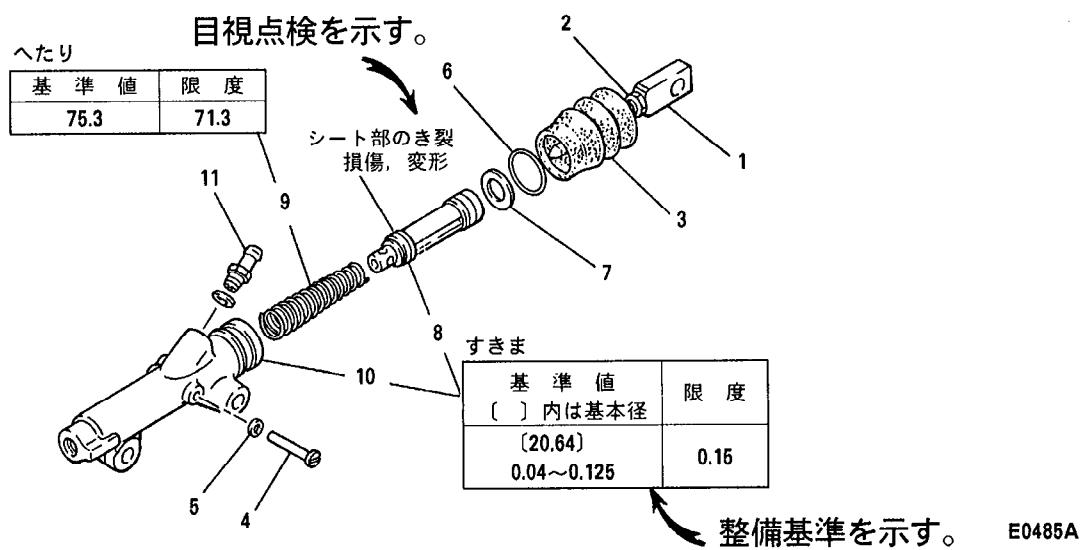
規定していない部位の締付けは、一般ボルト、ナットの締付けトルク表に基づき行う。

(5) 単 位

長さ、重さ、面積及び体積等はメートル法表示で指示している。温度については、せっ氏°C表示で指示している。

4. 記載内容の説明

(例 1 : 分解、点検)



分解順の一例を示す。

〈分解順〉

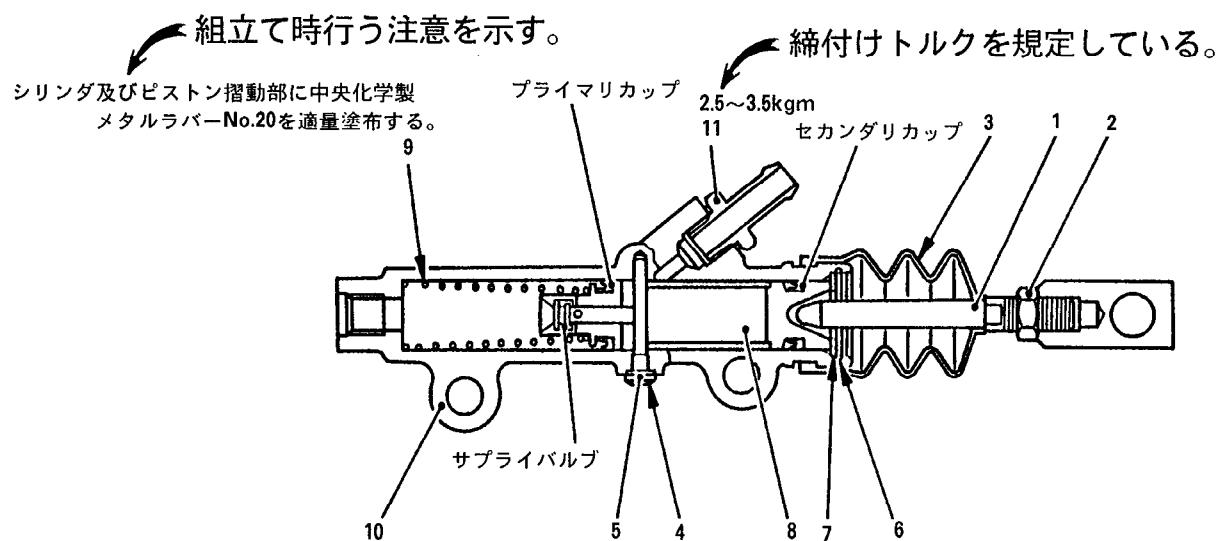
- 1 プッシュロッド
- 2 ロックナット
- 3 ブーツ
- 4 サプライバルブストップ

- 5 ガスケット
- 6 ピストンストップリング
- 7 ピストンストッププレート
- ⑧ ピストン

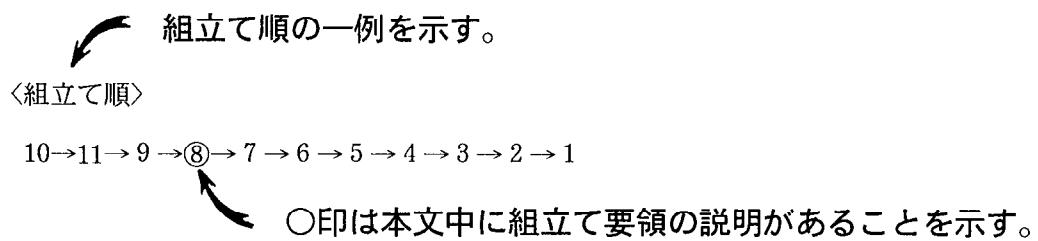
- 9 リターンスプリング
- 10 シリンダ
- 11 ニップル

本文中に分解要領の説明があることを示す。

(例2：組立て)



E0457A



各イラスト（分解、組立て図等）は、各装置の種類
によらず整備要領が同一の場合には代表例を記載し
ている。